

令和元年度

北九州市の地域防災力向上のためのアクションプラン ～産官学民連携 防災・減災意識啓発プラン『北九州モデル』～

提案者: 明治学園中学校・高等学校 自然災害と防災・減災チーム

プロジェクトの目的(解決したい課題など)

近年日本では自然災害が多発しており、従来から自然災害が少ないと言われていてきた北九州地域においても他人事とは言えない。そうした中、いざというときのために、北九州地域の「地域防災力」向上を図ることは急務である。

本プロジェクトは、地域防災力向上のための啓発活動を、産官学民連携 防災・減災意識啓発プラン『北九州モデル』として実施し、このプランを日本全国への普及を図ることを目的とする。

関連するゴール

4・11・17

活動概要

活動①

防災・減災意識向上のためのシンポジウム企画・開催

活動②

防災・減災意識向上のための被災地巡検企画・実施

活動③

防災・減災意識向上・普及のための小学校啓発授業実施

活動④

防災・減災意識向上のための新規啓発プラン考案・実施



成果・数値目標

防災・減災意識向上のための啓発活動 延べ参加高校・大学数10校 など

令和元年度

教育旅行コンテンツRethink YAWATA

提案者：株式会社JTB北九州支店

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

北九州市立大学とJTBが協業し、SDGs未来都市北九州を舞台に旅行コンテンツを開発するもの。SDGsを織り込んだ教育旅行を提供することは、「交流人口の増」に寄与し、さらには「SDGsの認知度」向上に貢献する。

域外・域内の中高生対象としたSDGsを学ぶ教育旅行コンテンツを提供することで、次世代を担う若者に自分ごととして“まちづくり”を考えるきっかけをつくる。

関連するゴール

4. 質の高い教育をみんなに

11. 住み続けられるまちづくりを

活動概要

北九州市立大学地方創生学群小林ゼミの学生とJTBが協業し、域外・域内からの教育旅行コンテンツを造成。

- ・約4時間程度の体験プログラムとする
- ・フィールドワーク（町歩き）とワークショップ2部構成。
- ・ファシリテーターとして大学生が、4～7名の班構成した中高生を引率
- ・3回程度のトライアル実施
- ・舞台は、東田地区



成果・数値目標

2020～2021年度に開催する「Rethink YAWATA」のプログラム 参加者数（目標100名）

令和元年度

北九州市 企業・事業所対抗ウォーキング大会

提案者：日本生命保険相互会社 北九州支社

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

- 全国平均に劣後している健康寿命の全国平均へのキャッチアップ
- 市として掲げている「健康（幸）寿命プラス2歳」の中で、2022年までに目指す姿の項目「6.健康づくりに取組む企業100社以上を目指します。」の達成

関連するゴール 「3：すべての人に健康と福祉を」 「8：働きがいも経済成長も」

活動概要

北九州市 企業・事業所対抗ウォーキング大会



- 企業・事業所対抗歩数対抗戦
- 期間は3週間～1か月
- 計測や途中経過はスマホアプリ上で管理
- 企業・事業所と個人で順位賞
- 目標：100社参加



- アプリ上で参加企業の順位や自所属内の自分の順位もリアルタイムで確認!!
- ※スマホアプリaruku&(あるくと)使用

上位企業・事業所と個人には順位賞贈呈!!



運営・対面サポート 日本生命



- 大会運営とアプリの管理
- イベント告知やアプリの登録勧奨など対面サポート
- 「GO!GO!あるくっちゃKitaQ」の宣伝も併せて実施

協賛団体とともにイベントを盛り上げ

効果
検証

順位賞
賞品提供

メディア
での告知

ウォーキングイベント等
とのコラボ

等

協賛団体には、北九州支社700名の営業職員網での協力(ビラ配布、アンケート)やイベント参加者へのアプリ上宣伝、日本生命での社内斡旋を検討

成果・数値目標 イベント動員100社以上

令和元年度

学びのスクランブル交差点

提案者： 永末康介（北九州市立大学 基盤教育センター）

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

SDGs全体の達成のためには、未来社会を支える人材育成が不可欠である。その社会課題解決に向けて、教員に加えそれ以外の人たちが協同して教育に関して対話や交流できる場を作ることが一義的な目的である。そして、その場における学びを教育現場に還元させて、これからの若者などがより良い「市民」（future-ready “citizen”）になるように手助けすることを使命としたい。

関連するゴール

4. 質の高い教育をみんなに 8. 働きがいも経済成長に 17. パートナーシップで目標を達成しよう

活動概要

① ワークショップなどを含む情報交流会 [年数回]

（教育に関する情報交換 [ex. 「総合的な探究の時間」、高大接続、産学連携] や、企業などから教育機関に向けたSDGsを活用した教育コンテンツなどの紹介）

② 教育機関でのSDGs関連教育 [通年]

（①などで得られた知見を通じた学習者に向けた教育の提供）

③ 成果報告会 [2～3月予定]

（各教育機関などでの教育活動や②で得られた学習者の成果を披露する場）

成果・数値目標

2020年度の成果発表会での参加団体数：30団体（教育機関含む）

令和2年度

北九州のまちを美しく！プロジェクト

提案者：日本たばこ産業株式会社 北九州支店

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

清掃活動を通じて、捨てない心を育みたいと考えています。
 ごみ拾いSNS「ピリカ」を活用し、各SDGsクラブ会員が行っている清掃活動を繋げ、
 クラブ会員同士の連携促進を図ります。

関連するゴール

15・17（陸の豊かさを守ろう、パートナーシップで目標達成）

活動概要

1. 定期的な清掃活動

場所：小倉駅～小倉城周辺/堺町・鍛冶町周辺/黒崎駅周辺
 頻度：2か月に1回程度 10月・11月・1月・3月を予定
 いつ：（小倉）第二金曜日 9:00 or 10:00（八幡）第二木曜日 10:00-
 どこで：（小倉）小倉駅周辺（八幡）黒崎駅周辺
 ※第一回目は10月8日（木）10:00～黒崎駅で実施いたします。
 ※第二回目以降の集合時間・場所の詳細は別途連絡いたします。

2. イベントでの清掃活動

コロナ禍により計画ができない状況です、実施可能になればご連絡致します。

プロジェクト実施計：5～6回予定（2020年9月～3月）

※各クラブ会員が行っている清掃活動での参加もOK！ピリカで繋がり、
 北九州SDGsクラブを盛り上げましょう！



世界中で深刻な脅威となっている
 ポイ捨てごみ問題。ピリカはそんな問題を
 『繋がる』という観点からみんなで
 取り組むことを目指したSNSです。
 リアルタイムでごみ拾いを報告しあい、
 世界を少しでも変えることができます。

成果・数値目標

数値：参加団体・企業・・・20以上の団体・企業の参加 参加人数・・・300名以上の参加
 成果：プロジェクト参加者の意識の変化（まち美化に対する意識・行動、クラブ会員連携による相乗効果等）

令和2年度

紙の循環から始める地域共創プロジェクト

提案者： 紙の循環から始める地域共創プロジェクト推進フォーラム

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

北九州市八幡東区内での「紙循環システムの構築」と「新たな雇用の創出」を通して、環境×経済×社会の価値共創と、サーキュラー&シェアリング社会の実現を目指す

関連するゴール

ゴール6：安全な水とトイレを世界中に	ゴール7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに	ゴール8：働きがいも 経済成長も
ゴール9：産業と技術革新の基盤をつくろう	ゴール11：住み続けられるまちづくりを	ゴール12：つくる責任 つかう責任
		ゴール15：陸の豊かさも守ろう

活動概要

①：「地域内における紙の循環システム」の社会実証

i)サーキュラー&シェアリングエコノミーの実現

- ・地域の企業、団体、学校、自治体等（以下プロジェクト会員）の協働により使用済み古紙を回収、「ペーパーラボ」※の共同利用、再生紙からアップサイクル製品を開発、共創し、地域に還元する

ii)包摂性の高い社会の実現

- ・分別、再生加工等については
障害者福祉事業者が主体的参画
→障害者雇用機会の創出と職域拡大を目指す

②：「SDGs貢献活動の情報発信」

- ・プロジェクトメンバーの本活動への協力、
取り組み内容を各種メディアを通じ情報発信



成果・数値目標

20団体以上のプロジェクト参加、10団体以上の古紙回収もしくはアップサイクル製品の購入サービス利用（2021年度以降）

2022年3月末までに40万枚のA4PPC用紙の古紙回収など

令和2年度

北九州みらいキッズプロジェクト（出張こども大工編）

提案者：大英産業、大英工務店、桑の実工房

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

新築戸建の建築にあたり、毎年多くの木材が“ゴミ”になっている「住宅端材の廃棄」に対する課題解決に取り組みます。またこのPJを通じて、シニア大工や障がい者の新たな雇用と働きがいの創出、産学連携でこどもたちへ学びの提供を行い、ダイバーシティに富む街を目指します。

関連するゴール

4（質の高い教育をみんなに）、8（働きがいも経済成長も）、11（住み続けられるまちづくりを）、12（つくる責任つかう責任）
13（気候変動に具体的な対策を）、15（陸の豊かさを守ろう）17（パートナーシップで目標を達成しよう）

活動概要

◆プロ大工が幼稚園へ出張！SDGs×職業体感イベント【産学連携】

☞住宅端材からできた木工キットで園児オリジナルのイスをプロの大工+PJスタッフと一緒に作るイベント。
※使用する木工キットは桑の実工房（障がい者就労施設）にて制作

【場所】北九州市内の幼稚園

【頻度】2カ月に1回程度、平日に実施

【時間】1回あたり約2時間

イスには園児の手形と将来の夢を描いてもらい、世界に1つだけのオリジナル作品を制作！

プロ直伝の大工体験と端材のアップサイクルを通じてこどもたちに学びを提供します。

募集

- ① 当日、スタッフとしてこどもたちのイス作りをサポートしてくださる方
- ② イベント開催を受け入れてくださる幼稚園
- ③ 幼稚園寄贈の「北九州SDGsハウス」の協賛プレートに名前を掲載してくださる企業・団体 ※端材でつくった遊具
- ④ 端材×〇〇のように新たな発見と一緒にアップサイクルをしてくださる方



成果・数値目標

住宅端材の廃棄削減量：年間1,500kg / 障がい者工賃額：5%UP
園児参加人数：200名 / 加盟団体数：15団体

令和5年度

産官学民連携子ども向けマイアースカードゲーム北九州版環境教育プロジェクト

提案者：NPO法人SoELa、響灘ビオトープ、山田緑地、西日本工業大学

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

地球環境問題は解決しなければならない喫緊の課題ですが、子どもにとっては難解で自分ごとにしにくいテーマです。地球の未来を担う子ども達に向けて産官学民連携して環境プロジェクトを立ち上げ、主体的に未来の地球を作るために行動を起こす人々で溢れる社会づくりに貢献します。

関連するゴール

4、11、13、14、15、17

活動概要

- ・マイアース響灘の生態系パッケージ制作

響灘ビオトープ、北九州市立大学監修により「響灘の生態系チーム」と「地球温暖化チーム」の対戦型トレカを大学生、高校生が制作します。

協賛企業様や自治体のサポートカードも制作します。

- ・マイアースによる子ども向け体験会・ワークショップの開催

環境イベントへの出展、自主イベントの実施、小中学校向け環境教育を実施し、環境活動への意識を醸成します。

協賛企業様のサポートカードが切り札として登場します。

- ・入れ替え用カード、英語版、ARなどIT連携なども目指します

様々な生き物、企業パッケージ、英語版なども今後制作予定です。



成果・数値目標

響灘パッケージ1000set制作、子ども向け体験会等を5回程度実施します。